

前編 P8~13 中編 P82~92
後編 P211~223
烈濤編 P54~57

⑤ 霜神社

『集落のなかの道路に少し入り、晴哉はとある神社にやってきた。
鳥居の奥に、祠とでも言ったほうがよいような小さなお社が、ぽつんと建っている。
霜神社、と鳥居の額には書いてある。』



ツアー中、最も見つけにくいだろう神社。小さい神社だが、原作出現(?)率高。
阿蘇五岳がきれいに見渡せます。
正面にある道路をはさんで 100 Mほどのところにあるのが火焚殿。



後編 P60~66
烈濤編 P133~140

⑥ 阿蘇神社



『阿蘇神社は肥後一の宮で、旧官幣大社だ。
阿蘇開拓伝説の健甞龍命を筆頭に親族十二神をまつると
いう全国的にも珍しい神社である。』
『高耶と哲哉は阿蘇神社に到着した。(中略)
「おおよその態勢が掴めました」
といって七朗は楼門の下で大きな地図を広げた。(中略) 右手の
参道のほうから哲哉を呼びながら、
数人の男たちがやってくる。』



千秋と哲哉、晴哉が鬼八の首のありかを調べるために
きたところであり、高耶さんが七朗や哲哉と作戦会議
をしたり、三池の祝子と合流したところ。
日本三大楼門のひとつとして有名な大楼門の柱下に
たつて、右手を見ると、原作的にオウギ視点(→)。
参道は珍しいことに門にたいして平行。

